



喫茶 よもやまげんがくどう 喫茶 肆方山弦楽堂 住所：熊本市南区川尻1丁目3-4 TEL：096-288-1345 休業日：不定休



お料理まじま 住所：熊本市南区川尻4丁目13-34 TEL：☎ (0120) 28-4343 (096) 357-5800

外出自粛が徐々に解除され日常を取り戻しつつあるなか、皆さんどうお過ごしでしょうか？今回はテイクアウト情報をお届けします。川尻駅近くにある、宮城ご夫婦が営む喫茶 肆方山弦楽堂。今年で7年目を迎えました。

まずご紹介するのは奥さま特製のチキンタコスです。柔らかいチキンとシャキシャキ野菜にピリ辛のサルサソースが食欲をそそります。このボリュームで、なんと¥350(税込)！辛いのが苦手なお子様にはブリトーもオススメ。タコスの他にも、タコライス¥650(税込)やバーベQライス¥650(税込)などガッツリ系もあります。ちなみにご飯系はテイクアウト¥50割引です！さらに、これから暑くなる季節にピッタリのタピオカドリンクはいかがですか？

その名も『よもやまスペシャルスムージー』¥450(税込)。たっぷりホイップにバナナベースのスムージーがタピオカと相性バッチリ！美味しくいただきました。

店内にはずらりと並んだ楽器の部屋が。。。ギター歴30年のご主人が教える「MYGギター教室」も併設されており、毎日たくさん生徒さんたちが足を運んでいます。教室に来られない生徒さんに向けて、現在はオンライン教室も行っていきます。無料で体験レッスンを受けることもできるので、詳しくはお店の方までお気軽にご相談ください。

1日も早く、よもやま話に花を咲かせられる日が来ますように。



左からチキンタコス ¥350 (税込)、よもやまスペシャルスムージー ¥450 (税込)



みやぎだいご さとみ 宮城大吾さん 里美さん



MYGギター教室風景



看板娘のはるかちゃん

編集後記

本来ならば「熊本城マラソン」や「世代を越えて語ろう会」や以前は川尻月間と呼んでいた「川尻春ものがたり」を特集したかったのですが、今回は「コロナ禍」一色となっていました。イベントの中止を余儀なくされた主催者や休業を余儀なくされた商店街の方々、そして学校に行けない子どもたちとその親御さんなど影響を受けていない人はいないと言えるくらい未曾有のウイルスとなっております。一方で在宅勤務そして外出自粛するなかで、ここまで自宅を過ごしたことはなかったと思いますが、単身赴任の身にとっては貴重な家族との時間となりました。

with コロナ、after コロナと言われるなか、数年後の我々の

生活は今想像することも難しい世の中になっているかもしれませんが、リモートワークをすることで職場に通う必要がなくなり、逆に地域との関わりは増えるのではないのでしょうか！なるほど今回はafterコロナについて検討してみようと思います(笑)

これからは自治協議会の機関紙として必要な情報は提供しつつ誰もが楽しめるような紙面となるよう編集メンバー一同頑張っておりますので、引き続きよろしく申し上げます。最後に我々と一緒に紙面を作成して下さるメンバーを募集しておりますので、ぜひ直接もしくは(kayou.shinbun@gmail.com)までご連絡お願いいたします。

読者プレゼント

大人気のプレミアムポップコーンを30名様にプレゼント!

「河陽新聞」をお読み頂きありがとうございます。前号に続き、「サプリーポップコーン」(代表は8町内 佐分利太介さん)の勝勢ラメン風味ポップコーンを抽選で30名にプレゼントいたします!

ご応募は kayou.shinbun@gmail.com

に氏名・住所・連絡先・今号の感想を記入してメールしてください。当選者の方にはご案内を返信いたします。(商品は手渡しになります。詳細はご当選者様にお送りします)



平成から令和へ。川尻の“いま”を伝えます

河陽新聞

Vol29 2020.6.5 KAWASHIRI AREA NEWSPAPER KAYOU SHINBUN



新型コロナウイルス退散祈願

我々の生活を一変させているコロナウイルス、学校休校や外出自粛、商店街の休業や在宅勤務など、大きく変わってきました。これまでの生活を取り戻すどころか、コロナ後の日常は不透明なままです。

そのようなコロナ禍の中で自治協議会を代表して河陽新聞作成メンバーが河尻神宮と大慈禅寺に新型コロナウイルス退散祈願と生活の安定を祈願させていただきました。

河尻神宮の宮川經宣宮司に通常6月と12月に災いごとを祓う“大祓式”という儀式とは別に祈願してもらいました。

大慈禅寺では、佐藤泰道住職に祈願していただき、更に我々新聞作成チーム親子8名で朝4:30から座禅をさせていただきました。壁を前に数十分呼吸を落ち着かせると、体の痛みとともに何とも言えない清々しい気持ちを得ることが出来ました。座禅会は毎週第3日曜日10:00から実施されていますのでお勧めいたします。

河尻神宮の歴史

1192(いいくに)作ろう鎌倉時代から5年後の、1197年(建久8年)に河尻実明(かわしりさねあき)という地頭が富合町の小岩瀬にお祀りしたのが河尻神宮の始まりで、当時から「若宮さん」と呼ばれていました。そして加藤清正公により1587年に現在の場所に社殿が作られて以来、加藤家・細川家の代々の藩主からも篤く信仰されました。

また明治時代になると現在の14地域の氏子が毎年年行事として奉納する現在の様な形でお祀りが行われるようになりました。

大慈禅寺の歴史

古くから曹洞宗の本山として人々の信仰を集めているお寺で創建は1278年で、曹洞宗の開祖である道元の高弟である寒巖義尹(かんがんぎいん)禅師によって開山されました。また寒巖義尹禅師は後鳥羽天皇(順徳天皇とも)の皇子といわれ朝廷ともつながりあり、お寺のいたるところに菊の御紋が配置されています。また国指定重要文化財である「梵鐘」と「寒巖義尹文書」が保管されています。また種田山頭火と夏目漱石が俳句を残したことでも知られています。

- ・まったく雲がない笠をぬぎ(種田山頭火)
- ・大慈寺の山門長き青田かな(夏目漱石)



若宮さんと慕われる河尻神宮



コロナウイルスを愛う宮川宮司



14ある年行事。本年度は元三と野田町でしたが秋季大祭は中止に



七堂伽藍の仏殿



国指定重要文化財の「梵鐘」と「鐘樓」



種田山頭火の句が刻まれています「まったく雲がない笠をぬぎ」

川尻商店街の新型コロナウイルス対策と今後



川尻駅前共栄会 会長 榎島 正さん

マスク姿が日常となった今、それは中国の武漢から始まりあっという間に世界中に広まった新型コロナウイルスがもたらしました。熊本県でも4月22日から5月20日まで教育関係の休校と共に、一部の企業・個人店舗にも「休業要請」がありました。

昭和30年に発足し現在の会員数が22名で構成されている「川尻駅前共栄会」でも、今回の新型コロナウイルス騒動で大きな打撃を受けて、売り上げが大きく落ちた店舗があります。熊本県ではこの所しばらく感染者は出ていませんが、まだまだ安心はできません。そんな中、川尻の夏の大イベントである「精霊流し花火大会」の中止、「河尻神宮秋季例大祭」の中止と、先行き不透明で暗黒のトンネルに入った長い戦いになりそうです。

各店舗の皆さんも三密、手洗いがい等等、それぞれ工夫をこらしながら、安心してお客様にご来店いただくように頑張っています。

川尻全体の取り組みとしては「川尻商店街連合会」会長である福山さんと連携しながら、この難しい状況を皆で乗り越えることを考えています。なかでも、川尻の店舗を多くの皆様にご利用いただくために「新型コロナウイルス対策緊急プレミアム付商品券」の発行を検討しています。

そして、歴史と伝統を重ねた川尻町は「地域との共生」「流動消費人口の拡大」「住んでみたい町住んでみたい町づくり」を目指します。

川尻中止イベント一覧



記者 川尻お寺deフェスタ代表 金井俊行 (7町内)

令和2年1月16日に国内初の感染者が発表され、2月22日には熊本でも感染者が。それから熊本では徐々に感染者が増えていき、私たちの日常は一変しました。

「2020 かわしり春ものがたり」の中止が決定し、その後も瑞鷹新酒蔵出し市や川尻お寺deフェスタなど数々のイベントが自粛、中止となりました。川尻お寺deフェスタは、婚活のコーディネーターに荒木直美さんを迎えての寺コンや、コジマ電気さんとコラボでお寺deミニ四駆大会、eスポーツ大会なども予定していました。私も代表として、悩みに悩んでイベントの中止・延期を決断しました。来年は今だからこそできることを考え、皆さんが楽しめる寺フェスを開催できればと思います。夏の甲子園も終戦後初の中止となりました。これから先どうなるか不安な状況です。しかし新型コロナウイルスに負けることなく、新しい生活様式に順応しながら心豊かに一日一日を大切に過ごしていければと願うばかりです。

Table with 2 columns: 開催日, イベント名. Rows include 2/24 世代をこえて語ろう会, 2/26~3/15 かわしり春ものがたり, etc.

特別インタビュー

川尻校区自治会連合会会長
自治協議会会長

米満吉重さん



コロナ禍の真っ只中、本年度5月より川尻校区自治会連合会と自治協議会の会長となられた米満吉重さんに就任に際しての想いや今後の川尻校区のまちづくりについて語っていただきました。

【就任にあたって】

自治会連合会を運営するにあたっては、各自治会長は経験豊富な方ばかりなので、それを活かす先ずは各町内において町内の為に役割を果たしてもらいたいと思います。その中で私は世話役として今まで以上にみなさんと連携し民主的な組織となるように纏めていきたいと思っています。また21の団体も加えて構成される川尻校区自治協議会を通じて町民からの声を反映させた川尻校区になるように努めていきたいと思っています。もちろん必要に応じて南部まちづくりセンターや南区役所など行政にもしっかりと働き掛けていきたいと思っています。

川尻交番だより



本年3月下旬に玉名市天水駐在所から赴任してきました川尻交番所長の山下大輔と申します。川尻交番は若手を中心とした交番員とベテランの相談員で構成され、24時間の交代制勤務を行っており、昼夜を問わず事件事故に対応しています。前任者より、川尻は地元住民の繋がりが強く、子供の見守り活動をはじめ、防犯パトロール活動や交通安全活動がとて熱心な街と伺っており、とても心強く感じています。本年は、コロナウイルス感染症の影響で、各種行事が中止となり、生活にも深刻な影響を与えるなど大変な時期を迎えています。私たちが交番員は変わらず街の皆さんの安全安心のためにパトロールに頑張ります。また、県下では依然として家族や警察官、市の職

【コロナウイルスの与える影響は】

情報伝達として利用している回覧版にしても運用が難しくなっています。例えば読んだ後にも除菌が必要で、回覧する場合も同様で、これまで以上に各人の努力と配慮が求められます。要は全ての活動において、これまで通りの対応では通用しないということです。コロナ禍の災害時避難については特に問題視している。避難訓練も密にならない配慮が必要だが、災害時は分離避難も念頭に入れたマニュアルの再作成が必要になります。

【今後のまちづくりについて】

公会堂を起点とした歴史資産の活用はもとより、校区全体で地域毎の課題解決へ向け各種団体・町内と連携を図っていききたいと思います。コロナ禍はまちづくりにおいてもターニングポイントになると思います。在宅ワークが拡大することで、「家庭」「仕事」だけでなく「地域」に関わる時間が増えるようになります。これを今までよりも親睦と融和が図れるチャンスと捉えるとともに、安心・安全を川尻校区全員の共通認識にして、より暮らしやすい川尻校区をみなさんと一緒に作っていききたいと思います。

員、百貨店店員を名乗りお金をだまし取る「電話で『お金』詐欺」事件が多発しています。



住民の皆さんには、電話がかかってきた際は、

○誰が何を名乗ろうとも、

「**お金・キャッシュカード・暗証番号**」の話は**全て詐欺**

○**一人で安易に判断せず、家族や警察へ相談する。**

(熊本南警察署 ☎096-326-0110)

十分注意して被害に遭わないように気をつけてください。

まちづくり放浪記④

川尻編



記者
益本 武士 (7町内)



今年に入り日本でもコロナウイスが蔓延する中で仕事の出張が大幅に減り、更には3月より外城の自宅在宅勤務を余儀なくされ、様々な地域のまちづくりを見る機会が一気に減ってしまいました。一方で運動不足を解消するために川尻校区や天明地区などを散歩することが日課となりました。そこで今回の放浪記では散歩で再発見した川尻の歴史や文化を紐解いていこうと思います。

鎌倉時代から河尻氏という地頭があたり一帯の土地を収めていました。その中でも当時の川尻は緑川の河口であり、港として利用していたため栄えていました。そのことは中国の明時代の地理書に「開懐世利」と記されていることでも証明されています。**なるほど開懐世利六薬匠の名称は中国の地理書から名付けられたのでしょうか！**

安土桃山時代には加藤清正が大名として入国し川尻の船着き場を藩の軍港および年貢米の集荷基地としての商港として発展させました。そのために天草五人衆の一揆や朝鮮出兵の基地として利用されたと言われていいます。**なるほど軍港として栄えていたので川尻の人たちは今でも元気がいいんでしょうね(笑)** また明治時代が始まる前の年の1867年に水の綺麗な川尻に瑞鷹酒造が誕生しました。ちなみに瑞鷹という名前の由来は元旦の朝に酒蔵に鷹が舞い込んできて、なんとめでたい瑞兆だろうということから「瑞鷹」となったそうです。更に公会堂は瑞鷹酒造の吉村家から川尻の発

展のために寄贈されたということ

とです。**なるほど川尻と瑞鷹は切っても離れない関係になり、みんな瑞鷹を水のように飲むようになったのですね(笑)**

西南戦争において川尻が薩軍の本陣となったことは有名ですよ。しかし川尻鎮撫隊を結成し官軍にも薩軍にも属することがなく町民の保護と治安維持にあたった川尻奉行の上田休という人をご存知でしょうか。暴れる薩軍から町民を守ったにもかかわらず西南戦争後に薩軍に協力したという冤罪で死刑にされてしまいました。そのことは知らずとも川尻校区に住んでいる我々のDNAにはしっかりと刻まれております。**なるほど、だから川尻校区ってなんか自立しているねって他の地域の人たちに言われるのも納得ですね。**ちょっと歩けばすぐ史跡が見つかり何気に通過しているいつもの道もこのような歴史が敷き詰められた地域なんて、そう簡単には見つかりませんよね。新たに住んでいる人も、川尻校区で育った人も「水」がもたらした川尻の歴史と伝統そして文化の恩恵を受けていることに変わりはありません。

最後にこの記事は各種資料に自分の想いを加味しており、歴史と必ずしも一致していない部分もあるかもしれませんが、少しでも楽しく読んでいただき、もっと川尻校区が好きになってもらえればとの想いで書き連ねています。

川尻校区自治協議会 活動報告書

南部まちづくりセンター



南部まちづくりセンター
所長
岡本智美さん

南部まちづくりセンター
住所：熊本市南区南高江6丁目7-35
TEL：096-358-1877

初めまして。今年4月に南部まちづくりセンターに配属となりました岡本智美と申します。これまでの部署と違い、直接、地域の皆様と接する機会が多いということで、少しの緊張と大きな期待を胸に参りました。

今回、光栄にも河陽新聞寄稿のお話をいただき、嬉しく思う反面、大変恐縮しております。何故なら、歴史や地理に疎い私は、川尻地区に対して「職人や商人のまち」「歴史ある町並み」「アサギマダラの里」という一般的な知識しか持っていませんから。さらに恥を言えば、長年愛用している川尻包丁は、自己流の研ぎで本来の切れ味をすっかり失っており、人様にお見せできないものになっております。

センター配属を機に自分の無知を猛省し、地域のことをもっと知る

うと意気込んでいましたが、このコロナ禍の影響で、数百年続く川尻の伝統行事「精霊流し」をはじめ様々な行事や活動が中止、自粛となっています。緊急事態宣言は解除されましたが、以前のような日常は戻るのか、地域コミュニティは維持できるのか、先行きは不透明であり、皆様苦悩されていらっしゃると思います。

このような中、公民館は5/21(木)に再開いたしました。ご利用には様々な制限がありますが、皆様の生活にほんの少しの潤いをご提供できるかもしれません。私は、地域の皆様と一緒に、今できるまちづくりについて考えていきたいと思っています。

ソーシャルディスタンス(社会的距離)を保ちながら、気持ちは一つにして、どうぞよろしく願いいたします。

城南中生徒会から

生徒会長 中元康介くん(左)
副会長 森 将平くん(右)

3月から5月までの3ヶ月間、休校期間として、学校に行かずに過ごしていました。卒業式の在校生不参加や、入学式の中止など例年と違うことがたくさん起こりました。受験生としては、学校に行けず勉強の遅れはもちろん起こっています。その中で、自分で勉強し、休校というなれない状況で自分を律してやるべきことをできるか、試されてるような気がします。私は野球部に所属していますが、全国、県の中体連中止と、部活動にも大きな影響が出ています。6月から、ようやく学校も再開します。3ヶ月間いろいろなことを我慢してきた中学生は待ちわびたことだと思います。勉強はもちろんですが、毎年楽しみにしている体育大会も、行われていません。ナイストライや、合唱コンクールも、例年のようにはいかないかもしれません。しかし、このコロナ禍を学校一丸、地域一丸となって乗り越えることで、僕たちの大きな力になると思います。大変なのはこれからだと思いますが、地域のみなさんのお力も貸していただきながら、一丸となってこの状況を乗り越えたいと思います。

月間いろいろなことを我慢してきた中学生は待ちわびたことだと思います。勉強はもちろんですが、毎年楽しみにしている体育大会も、行われていません。ナイストライや、合唱コンクールも、例年のようにはいかないかもしれません。しかし、このコロナ禍を学校一丸、地域一丸となって乗り越えることで、僕たちの大きな力になると思います。大変なのはこれからだと思いますが、地域のみなさんのお力も貸していただきながら、一丸となってこの状況を乗り越えたいと思います。



子供の昼食に関するアンケートを実施



記者
川尻小学校愛育会会長 森 長浩 (11町内)

新型コロナウイルス感染拡大により熊本市内の小中学校は3月から5月まで休校となり、当然ながらその間給食もなくなりました。このことにより子供たちの食事や生活サイクルが大きく影響を受けているのではないかと思います。他校のPTA会長さん方の協力を得て、ゴールデンウィーク中に熊本市内数十校を対象に「子供の昼食に関するアンケート」を実施しました。

アンケートの内容は「昼間子供が誰と過ごしているか」「昼食はどうしているか」「子供の昼食に不安があるか」「昼食を提供するシステムがあれば利用したいか」などで、この集計結果は各家庭の状況や潜在的なニーズを知ることのできる貴重な資料となりました。また、集計結果は5月12日に熊本市教育委員会にて遠藤教育長に提出し、一定の評価をいただきました。

はじめは休校中に学校給食(またはそれに準ずるようなもの)を配付したいと考えていたため、給食室を稼働させるなど教育委員会で検討してもらいたいとの希望がありました。しかし5月末で休校解除となることもあり、実現には至っていません。今後教育委員会において集計結果がどのように活用されるか分かりませんが、非常時のシミュレーションにも役立ててもらい、公的な施設、設備、人員を活用した食事提供システム構築に繋がってほしいと思っています。

また同時に、行政に投げかけるだけでなく、地域の中で自分たちでやってみてもいいのではないかと思います。地域単位でならば行政

全体で動いてもらうよりも早く行動することが可能です。世帯毎の経済的負担を考えれば行政の補助が欲しいところですが、地域の中で工夫して試験的に何か実行してみることは、それだけでも意義のある取り組みです。コロナウイルスに限らず災害などが原因でまた長期間休校になる可能性がないとは言えません。そうしたときに他の地域からも参考にもらえるようなモデルケースをこの川尻で作れたらと考えています。

